管路診断コンサル協　管路施設改築・修繕歩掛を改定

管路マネジメント必読の一冊

管路診断コンサルタント協会（山﨑義広会長）は、今月上旬に「下水道管路施設改築・修繕に関する設計委託業務標準歩掛（案）」の令和３年版を発刊した。管路施設の計画的な改築・修繕、そして耐震化等に至るまでの必読の一冊である同歩掛について、その策定に携わった二人にポイントなどを解説いただいた。

改定歩掛の３大ポイント

技術委員会副委員長　山下　徹氏

管路診断コンサルタント協会（以下管診協）では、「下水道用設計標準歩掛表一第３巻　設計委託一」などの設計・調査業務に供する歩掛に整備されていない、下水道管路施設の改築・修繕に関するさまざまな設計・調査業務についていち早く歩掛化を進め「下水道管路施設改築・修繕に関する設計業務委託標準歩掛（案）」として取りまとめ、発刊してまいりました。

今般、最新版として「下水道管路施設改築・修繕に関する設計業務委託標準歩掛（案）ー令和３年版ー」を発刊する運びとなりましたので、改定のポイントについてご紹介いたします。

◆今回の改定で追加・再編集された項目について

①高解像度カメラを用いたマンホール・管口点検積算基準（案）の収録

昨年度、管診協では、コンサルタント自らが安全で確実な点検が行えるよう、高解像度全天球カメラと全周大照度ＬＥＤ照明を用いたマンホール点検器材（管診鏡ＭＣ）と、高解像度カメラ大照度ＬＥＤライトによる管口点検器材（管診鏡ＰＣ）をリリースしました。また、これに併せてこれら高解像度カメラを用いたマンホール・管口点検のための業務委託歩掛（案）を別冊版として発刊いたしました。おかげさまで管診鏡発売以来、管診鏡ＭＣ、管診鏡ＰＣともに販売実績を重ね、コンサルタントにとどまらず点検・調査会社など多くの皆さまにご利用いただいております。

今般の歩掛改定では、皆さまへのさらなる利用拡大と利便性向上のため、別冊としておりました点検歩掛（案）を合冊し、本歩掛（案）１冊で管診協で策定している全ての歩掛をご利用いただけるようにいたしました。

②歩掛に関するＱ＆Ａの整理収録

平成12年に初版の歩掛を発刊して以来、多くの皆さまに歩掛に関するご質問をいただいてまいりました。今般、これらの質問および回答のうち、改定歩掛（案）に関連するものについて、業務内容別に編集整理し収録いたしました。歩掛のご利用に際し、疑問解消の一助となれば幸いです。

③下水道管路施改築・修繕に関する国からの事務連絡・通達資料の充実

管診協では従来の歩掛（平成30年版）でも、管路施設の改築・修繕やこれに類するものについての国からの事務連絡や通達について整理、収録してまいりました。今般の改定歩掛でも、平成30年度以降に出された事務連絡や通達のうち、管路施設の改築・修繕に関するものを抽出整理して収録いたしました。毎年度、国から発出される事務連絡、通達は膨大な数に上りますが、これらのうち管路施設の改築・修繕に関するものを、「社会資本整備総合交付金」「下水道施設の耐震対策」「下水道施設の改築」等カテゴリ別に分類し、分かりやすく整理しております。

◆歩掛利用者・発注者の皆さまへ

管診協ではこれまでも皆さまからのご要望等にお応えする形で、いくつもの歩掛（案）を策定し、利用者の利便性に供してまいりましたが、「下水道用設計標準歩掛表一第３巻　設計委託一」での管路施設改築に関する歩掛が整備充実されたことを受け、発刊している歩掛（案）の整理統合を進めてまいりました。今般、「高解像度カメラを用いたマンホール・管口点検積算基準（案）」を合冊し、通達集の見直しとＱ＆Ａを加え、新たに改定歩掛（案）を発刊するに当たり、これまでの歩掛（案）については廃版とすることになりました。

発注者の皆さまはじめ、管診協の歩掛をご利用いただいてきた皆さまには、改めて最新版として本改定歩掛（案）をご活用いただきたくお願いいたします。

また、歩掛では標準化されていない作業項目や、適用に当たっての条件が付与されております。各歩掛の適用範囲、要件等について十分ご理解の上、適切にご利用いただくことをお願いするとともに、ご不明な点については当協会までお問い合わせいただきたくお願いいたします。管診協では、他では整備されていない業務歩掛に関して、皆さまからのご要望に積極的にお応えする所存です。既刊の歩掛に関する忌憚のないご意見を頂戴するとともに、新たな歩掛に関してもご要望等頂戴できると幸いです。

改定のポイント

①マンホール・管口点検積算基準（案）を収録
→昨年秋に別冊展開していた同積算基準を収録。一冊で管診協の全歩掛を網羅

②歩掛に関するＱ＆Ａの整理・収録
→協会宛に寄せられた歩掛を活用する上での解釈などに関する質問への回答を例示

③国からの事務連絡・通知資料の充実
→平成30年度以降に出された事務連絡や通知のうち、管路施設の改築・修繕に関するものを収録

Q&A、通知など拡充　実務者が求める情報を

管路診断コンサルタント協会　技術委員長　永井　周氏

――管診協が独自に歩掛を発刊する意義は。

下水道事業においては注業務の基本は「水道用設計標準歩掛表（白本）」となりますが、下水道関連業務全てを網羅しているわけではなく、特殊工法・業務については、その都度見積もり依頼とならざるを得ませんでした。こうした実態を受け、管診協では実務者側の視点に立ち、白本などで扱っていない調査・計画・実施設計業務に関する歩掛を独自に策定してきました。

主なつものを挙げると「下水道管路施設総合地震対策計画策定積算基準（案）」「マンホールトイレシステム実施設計積算基準（案）」「水道ストックマネジメント実施方針（管路施設）【マンホール蓋】策定積算基準（案）」「下水道管きょ修繕・マンホール更生実施設計積算基準（案）」などがあります。

昨年秋には新たに「高解像度カメラを用いたマンホール・管口点検積算基準（案）」を策定しており、いずれの歩掛とも他にはない存在しないユニークなものとなっており、自治体・コンサルタントの皆さまに愛顧いただいています。

今回、前述の四つの歩掛加え、このマンホール・管口点検積算基準を合冊する形で、「下水道管路施設改築・修繕」に関する設計委託業務標準歩掛（案）」の令和３年改定版を発刊する運びとなりました。

――今回の改定で大事にしたことは。

「下水道管路施設改築・修繕に関する設計委託業務標準歩掛（案）」については、平成12年に初版を発刊以来、実に20年以上にわたり時代の要請に合わせ知見・記載内容の拡充を図ってきました。これまでの積み重ねに加え、実務者が必要とする情報へのアクセスをこの一冊で完結できるよう工夫を凝らしています。

――ユーザビリティを意識したということでしょうか。

管路施設の調査・計画・設計等に携わる技術者はさまざまな文献・先行事例・関連歩掛・参考資料を収集し、それらの中から最適解を見つけるべく日々研さんを重ねています。そうはいえども、設計というものはどれ一つをとっても全く同じものはなく、その都度設計思想の確認が必要になっています。管診協の歩掛はそうした振り返りや再確認の際によりどころとなるものと考えています。

近年の管路業務においては必携の一冊として認知されつつあり、発注者やコンサルタントの皆さまから歩掛内容の解釈や適用方法などについて多くのご質問が寄せられています。

そうした受け答えについても広く共有・発信すべき知見と考え、この改定版では過去に問い合わせのあった事例をＱ＆Ａ形式でまとめています。類似ケースや適用範囲の判断が難しいケースなどの参考としていただければ幸いです。最低限の記載とはなりますが、法令や通達事項についても整理していますので、ぜひご活用いただければと思います。

――このほかにも注目すべきポイントは。

今回、新たに収録・合冊した「高解像度カメラを用いたマンホール・管口点検積算基準（案）」に関連しますが、管診協では昨年から調査機器「管診鏡」を取り扱っています。主たる目的は管路施設での利用を想定したものとなりますが、次のターゲットとして処理場・ポンプ場等の劣化状況の把握に用いることができないかと思案しているところです。地中構造物を地上から調査するという原理は同じですので、作業員が立ち入ることができないような過酷な環境での調査で活用してもらえたらと考えています。

また平時の維持管理のみならず、災害時の緊急点検においても遠隔地と現場で即座に被災状況を共有・把握できるなどの使い方もできますので、ぜひ管診鏡の導入を検討いただければと思います。

――最後に管診協としての今後の取組みを。

今回の改定版歩掛のほかにも、「下水道管路施設改築・修繕に関するコンサルティングマニュアル（案）」の刷新の準備を進めています。従来からのストックマネジメントから一歩進み、資産管理、インフラマネジメントをより意識した「下水道管路施設アセットマネジメントマニュアル（案）」のプロジェクトが進行中です。来年夏頃の発刊を予定しています。新技術の活用、既存インフラの集約・再編などこれからの主軸となる事業に対し、提言していきたいと考えています。

――ありがとうございました。

管口・マンホールカメラの新たな活用方法の提案へ

管診鏡MC

マンホール点検
360°照射ライトと360°カメラでマンホールに入ることなくマンホール内部を鮮明に撮影しますマンホールの点検調査を安全かつスピーディに実施します

会員・団体価格 380,000円
非会員価格　400,000円

【構成社員】（50音順）

㈱荒谷建設コンサルタント　☎082-292-5481
㈱アンドー　☎0263-48-0480
㈱ウエスコ　☎086-254-2111
㈱エイト日本技術開発　☎086-252-8917
㈱ＮＪＳ　☎03-6324-4355
㈱遠藤設計事務所　☎018-863-8011
㈱オウギ工設　☎027-233-0561
㈱鵬技術コンサルタント　☎0858-26-4695
オリジナル設計㈱　☎03-6757-8800
㈱オリンピアコンサルタント　☎0584-82-8302
環境設計㈱　☎077-547-2345
㈱関東工社　☎048-833-3023
関東測量㈱　☎027-232-2111
㈱技研コンサルタント　☎045-341-4046
九州水工設計㈱　☎0952-32-1105
九和設計㈱　☎093-641-3773
㈱共和技術コンサルタンツ　☎045-222-6236
共和コンサルタント㈱　☎048-829-2402
協和設計㈱　☎072-627-9351
㈱極東技工コンサルタント　☎06-6384-7771
㈱工藤設計　☎028-648-1751
㈱邦エンジニアリング　☎098-859-3921
建設技研コンサルタンツ㈱　☎0766-21-6126
㈱コイデ　☎027-212-7100
㈱コーセツコンサルタント　☎045-323-0136
㈱コスモ建設コンサルタント　☎0853-72-1171
㈱三喜コンサルタント　☎0299-66-3211
㈱三協技術　☎022-224-5503
㈱三水コンサルタント　☎06-6447-8181
三陽技術コンサルタンツ(株)　☎027-243-6211
㈱シーエスエンジニアズ　☎048-866-1721
㈱シードコンサルタント　☎0742-33-2755
㈱ジェーエステック　☎048-834-6873
静岡コンサルタント㈱　☎055-977-8080
㈱ジャパックス　☎078-277-1813
㈱昭和設計　☎06-7174-8787
㈱昭和設計事務所　☎026-226-3450
新水設計㈱　☎0270-40-5275
新都市設計㈱　☎04-2922-1831
㈱新日本コンサルタント　☎076-464-6520
新日本設計㈱　☎026-266-9600
㈱セリオス　☎06-6222-1451
相互技術㈱　☎025-283-0150
㈱大広エンジニアリング　☎082-291-1313
㈱大成コンサルタント　☎0868-72-3203
㈱太平設計　☎093-551-1413
㈱高崎測量　☎027-361-2271
㈱異設計コンサルタント　☎0833-71-2683
玉野総合コンサルタント㈱　☎052-979-9111
㈱中央設計技術研究所　☎076-263-6464
中央復建コンサルタンツ㈱　☎06-6160-1121
㈱中部設計　☎076-442-4161
㈱テイコク　☎058-214-6667
㈱寺島コンサルタント　☎076-444-1355
㈱ドート　☎011-723-4224
㈱東海建設コンサルタント　☎055-931-0625
東京技研設計㈱　☎03-3456-3831
㈱東洋コンサルタント　☎03-5992-1161
都市開発設計㈱　☎027-251-3919
内外エンジニアリング㈱　☎075-933-5111
中日本建設コンサルタント㈱　☎052-232-6032
㈱浪速技研コンサルタント　☎072-623-3695
㈱ナルサワコンサルタント　☎025-282-2070
㈱西日本設計　☎06-6772-9161
㈱日建技術　☎025-275-3742
㈱日産技術コンサルタント　☎06-6944-0224
㈱日新技術コンサルタント　☎03-5847-7850
㈱日本インシーク　☎06-6282-0310
㈱日本水工コンサルタント　☎048-783-5664
日本データーサービス㈱　☎011-780-1111
㈱蓮池設計　☎053-471-3138
㈱光エンジニアリング　☎048-666-1811
㈱フジヤマ　☎053-454-5892
富洋設計㈱　☎03-5669-7333
北陸コンサルタント㈱　☎076-493-7717
㈱松尾設計　☎093-661-4970
㈱水環境プランニング　☎028-666-0316
㈲水都環境　☎03-5949-3122
山田・エンジニアリング㈱　☎045-212-1907
ユーエヌコンサルタント㈱　☎03-3222-1002
㈱理工エンジニアリング　☎055-263-6726

（令和3年10月現在81社）

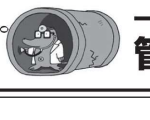
管診鏡PC

管口部点検
高解像度カメラと強力ライトでマンホールに入ることなく管路内部を鮮明に撮影します管口からの点検調査を安全かつスピーディに実施します

会員・団体価格 260,000円
非会員価格　280,000円

※金額には消費税を含みません。会員価格は、一般社団法人管路診断コンサルタント協会の会員向け提供価格です。団体価格は、国及び地方公共団体等の官公庁向け提供価格です。

入会希望の企業様はホームページまで



一般社団法人
管路診断コンサルタント協会

〒112-0002 東京都文京区小石川5-5-5 プライム茗荷谷ビル
TEL 03-5810-1921　FAX 03-5810-1922
URL:https://www.kanshinkyou.jp/　E-mail:info@kanshinkyou.jp